

氏名	高橋 泰
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第1688号
学位授与の日付	平成10年3月25日
学位授与の要件	医学研究科病理系ウイルス学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Transmission of human herpesvirus 7 through multigenerational families in the same household (ヒトヘルペスウイルス7型の家族内伝播)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 赤木 忠厚 教授 清野 佳紀

学位論文内容の要旨

ヒトヘルペスウイルス7型 (HHV-7) は、先に発見されたヒトヘルペスウイルス6型同様、突発性発疹の原因ウイルスである。我々は、HHV-7の伝播様式の解明を試み、特に家族内伝播の可能性について検討した。3世代家族を含む6家族47人を対象に、その全員の唾液からウイルス分離を試み、47人中43人 (91.5%) からHHV-7が分離同定された。分離ウイルスゲノムの制限酵素酵素切断パターンの解析の結果、3世代のある家族では、母親と第1子、第3子、第4子で制限酵素パターンが一致し、父方の祖母と父親もパターンが一致した。また、別の家族では、父親と6人中5人の子供のパターンが一致し、母親と残り1人の子供のパターンが一致した。これらの結果をまとめると、子供の制限酵素切断パターンがその母親と一致したものが48%、父親と一致したものが28%、同胞とのみ一致した場合が16%、家族内に一致するものが見い出せなかったものが8%であった。以上の結果から、HHV-7は家族内での濃厚な接触による水平伝播がその伝播経路として強く示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、3世代家族を含む6家族47人の唾液から、ヒトヘルペスウイルス7型 (HHV-7) を分離し、そのゲノムの制限酵素切断パターンを比較・検討したものである。ウイルスは43人 (91.5%) から分離され、3世代間あるいは2世代間で同一のパターンを示すものが多く認められたことから、HHV-7は健康人でも常時唾液に排出され、家族内での接触による水平伝播により感染することを示した価値ある業績である。よって本研究は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。